

# (公財) 滋賀県産業支援プラザ あなたの夢をサポートします！ 創業支援 NewsLetter 2017.12月号

(公財)滋賀県産業支援プラザではコラボしが21 インキュベーション (創業準備オフィス、創業オフィス)、草津 SOHO ビジネスオフィス、米原 SOHO ビジネスオフィス、滋賀県立テクノファクトリーを運営しています。創業や新技術開発など、インキュベーション・マネジャー (IM) による成長段階に応じた支援を行っています。

創業をお考えの方は、(公財) 滋賀県産業支援プラザ 創業支援課まで 077-511-1412

## ■ 「メッセなごや2017」に出展しました。

平成29年11月8日(水)～平成29年11月11日(土)の4日間、ポートメッセなごやにて開催された「メッセなごや2017」に出展致しました。



メッセなごや2017  
開会式風景

今回、滋賀県産業支援プラザブースには株式会社井之商、株式会社セルミック、株式会社D o. ベガ HOME の3社に出展頂きました。

メッセなごやは2006年にスタートし、今回で第12回をむかえる日本最大級の「異業種交流の祭典」です。トヨタグループをはじめ、過去最多となる1,409社の団体が出展し、4日間で62,831名の来場者がありました。

当プラザは滋賀県産業支援プラザの紹介はもとより、滋賀県企業、観光に至るまで幅広く紹介させて頂きました。



初日の会場風景



来客でにぎわう  
プラザブース

プラザブースでは、出展頂いた株式会社井之商様は同社の主力商品である、太陽光照明システム、スカイライトチューブを、株式会社セルミック様は焦点距離の長さで業界ナンバーワンを誇る、デジタルマイクロスコープと次世代除菌消臭水であるアイポッシュを、株式会社D o. ベガ HOME 様は様々な効能が期待される和ハーブの月桃茶紹介と販売を頂きました。

今回は滋賀県から県のキャラクターである「キャプティン」をお借りし集客しました。また、トヨタグループの近くのブースであったこと、併せて各出展者様の熱心な営業活動もあり、多くの来場者を呼び込むことに成功しました。



県のキャラクター  
「キャプティン」

メッセなごや2017 来場者速報

日付	天気	来場者数	合計
11/8(水)	のち曇	13,792名	62,831名
11/9(木)	晴	18,014名	
11/10(金)	晴	19,242名	
11/11(土)	晴	11,783名	

## ■ 「ソーシャル・インパクト・ボンド (SIB) 普及促進セミナー」を開催しました。

平成29年10月12日(木)13:30より東近江市能登川コミュニティセンターにて「ソーシャル・インパクト・ボンド (SIB) 普及促進セミナー」を開催しました。

人口減少社会を迎える中で、持続的な社会を実現し、地域の暮らしと経済を支えるためには、人・モノ・資金といった経営資源を県内で活発に循環させることが重要です。そこで注目されているのが、コミュニティビジネスやソーシャルビジネス (以下、CB・SB) といった、地域と密接に関わるビジネスの仕組みづくりです。

英国では、民間の力を活用した社会課題解決手法の一つであるソーシャル・インパクト・ボンド (以下、SIB) ※による成果と仕組み、社会的貢献度を価値換算して評価する手法に注目が集まっており、わが国においてもその導入が検討されています。



SIB 普及促進セミナー  
工藤七子氏の講演

### ※ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)

2010年にイギリスで開発された社会的投資モデル。投資家の出資により、民間企業団体が社会課題解決に向けた事業を実施、行政経費が削減される成果が上げれば、自治体等が投資家に報酬を支払う官民連携の仕組み。

セミナーでは、一般財団法人社会的投資推進財団 常務理事 工藤七子氏から、わが国の地方自治体でのSIB導入プロセスとその課題について、東近江市 まちづくり協働課 主幹 池戸洋臣氏からは、東近江市役所が取り組まれている事例についてご講演をいただき、CB・SBの振興等、今後の産業振興分野でのSIB導入の可能性や施策の展開を考えました。

当日は県内各地の市町から参加があり SIB 周知のための趣旨は達せられたと思われます。また、東近江市の池戸さまからは県内での事例をご発表いただいたことで、実際に参加者が各所属での実施を検討していただく際に、大いに参考になるものと思われました。

東近江市  
池戸主幹の講演



## ■ ビジネスカフェ in 大津 今から知っておきたい「税務会計セミナー」を開催しました。

平成29年10月7日(土)13:30よりコラボしが21会議室で、講師に小川宗彦税理士をお迎えし、今から知っておきたい「税務会計セミナー」を開催しました。

4回シリーズで実施した今回のセミナーは、従来の基礎的な税務会計の知識のみならず、経営者が判断に迷いやすい問題を税務会計の面から明確な判断基準を得られる方法をご教授いただきました。例えば、同じ事業でも将来の展望により経営方針は変わっていくということ。具体的には上場を目指すのか、または同族企業を目指すのかによって、経営判断や運営組織の在り方などが大きく異なるということです。また価格設定を同業他社との比較のみで決定するのではなく、自ら率先して決めていく方法など受講生の販売する商品や身近な商品を事例にわかりやすく知る機会となりました。



税理士の  
小川宗彦氏

今回のセミナーでは講師と受講生の対話を中心とした組立とし、各回で随所にワークショップを取り入れ「質問はその日に解決する」という内容になっています。決算書の数字は相互に作用し、そこには何等かの原因と経営者の明確な意図が隠されているからです。日々の売上計上に邁進することは大切な活動ですが、その成果としての決算書が経営者自身の意図した内容となっているかを経営者自らが判断しコントロールする。それも経営者の醍醐味のひとつではないでしょうか。

# しが新事業応援ファンド通信

## 株式会社 林与

地域資源「湖東麻織物(近江上布)」を活用した  
広幅絁織物の開発事業



### 1. 林与の沿革

近江湖東の地に麻織物業として明治 30 年に創業した林与は、林 与志雄 氏で 4 代目となる。創業以来、近江上布の織元の一つとして麻織物を織り続けている。同社には過去に製造した近江上布のアーカイブが残されており、今日でも色あせない魅力を放っている。

同社はこれまでもファンド事業を活用して「湖東麻織物の技術を応用した世界最高峰のリネン織物を製織できる技術基盤の開発」に取り組んでおり、細糸の麻織物技術では世界一と自負している。伝統を紡ぎながらも、時代に合った、将来を見据えた活動に積極的な姿勢を持った織元である。

現在は、アパレルメーカー向けの卸販売や小物製作用材料として個人向けのインターネットによる販売、資材（パン屋さんがパン焼き時に用いる布等）としての販売を行っている。

### 2. ファンド事業での取り組みと 4 代目の想い

既存の織物は着物地であり保有している織機も殆どが小幅用で現代の規格に比べると幅が狭い。近江上布のアーカイブ（小幅＝約 36cm）は海外の展示会で好評だったので、生地と柄を洋装アパレル向けに活用したいと考えた。洋装アパレルに活用するためには 110cm の広幅で織る必要があり、和装用の小幅品を洋装用の広幅品に展開するための開発を開始した。

単に広幅で織るのではなく、伝統的な柄を、プリン

トではなく絁織（先染めした糸を織って柄を再現する織り方）で再現すべく、横糸を染めるための道具を考案、自作した。染色は困難であったが、染料を固着させるための蒸し器も開発するなど試行錯誤を経て、市販レベルのストールを完成させ、上々の評価を得た。また、海外（イタリアミラノ・中国上海）の展示会にも出展することで、世界に湖東麻織物（近江上布）の良さを広げることに取り組んでいる。



広幅で試作したストール

### 3. 今後の展開

染の工程において、ファンド事業では型紙捺染という技法で実施したが、これをインクジェットプリンタを用いることで「版不要」かつ「スピードアップ」を目指したいと考えている。さらには、現在の 110cm 幅をさらに広くし、より様々な用途に使えるようにしたい考えである。

近々には、アーカイブにある魅力的な柄のカーテンなども目にすることが出来そうである。



代表取締役 林 与志雄 氏

住所 〒529-1325 愛知郡愛荘町東円堂 1770  
TEL 0749-42-3245

## ビジネス・インキュベーション施設

### ■米原 SOHO ビジネスオフィス

〒521-0016 滋賀県米原市下多良 2-137  
文化産業交流会館 4F  
TEL : 0749-52-9200  
E-mail : maibara@soho-shiga.jp



### ■滋賀県立テクノファクトリー

〒525-0055 草津市野路東七丁目 3 番 46 号  
TEL : 077-516-0410



### ■コラボしが 21 インキュベーション

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 2-1  
コラボしが 21 4 階  
TEL : 077-511-1412  
E-mail : in@shigaplaza.or.jp



### ■草津 SOHO ビジネスオフィス

〒525-0032 滋賀県草津市大路 1-1-1  
エルティ 932 4 階  
TEL : 077-566-8121  
E-mail : kusatsu@soho-shiga.jp



### ◎ 12 月の創業支援関係セミナー

- ・ 起業のススメ～「やればできる」の精神論ではダメ、成功のカギは顧客満足度の見える化
- ・ 第 4 次産業革命  
～AI ってどんなところで使えるの？～

近日開催予定のセミナーの詳細についてはこちらの QR コード→  
もしくは「支援プラザ 新着情報」で検索してください！



## Business Incubation

創業支援 News Letter

発行：(公財) 滋賀県産業支援プラザ  
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 2 番 1 号

TEL : 077-511-1412 FAX : 077-511-1418

E-mail : in@shigaplaza.or.jp

URL : <http://www.shigaplaza.or.jp/>

支援プラザ と検索を

公益財団法人滋賀県産業支援プラザ